

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	福祉のまちづくり整備助成				所管	福祉部	
						福祉課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 平成 1 6 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区福祉のまちづくり整備助成金交付要綱			
	事業対象	①診療所②施術所③薬局④その他これらに類する施設					
	事業目的	公共的施設のバリアフリー整備を行おうとする者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、バリアフリーを促進し、区民の社会的自立と社会参加の機会を拡大する。					
	事業内容	バリアフリー整備(①道路から出入口までの通路②建物の出入口③その他)助成 ○補助率:補助対象経費の1/2 ○補助限度額:100万円					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	都					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	整備件数	件	4	2	2	2
		成果指標	累計整備施設数	件	34	18	20
	決算額 (単位:千円)				1,449	1,175	1,174
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,000	852	850
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,449	1,175	1,174
		総経費			2,449	2,027	2,024
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			725	587	587
一般財源(区負担額)			1,724	1,440	1,437		
前回評価から改善した事項	対象となる施設が必要な助成を受けられるよう、継続的に周知を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	高齢者や障害者が利用する医療施設等のバリアフリー化を、より一層促進する必要性は高い。				
	効率性	3	コストや効率面について大きな変化はなく、コストに応じた実績を挙げている。				
	手段の適切性	3	医療施設等のバリアフリー化を推進し、福祉のまちづくりを計画的に進める為に行政の支援は必要である。				
目的達成度	4	毎年整備実績があり、小規模医療施設等のバリアフリー化は着実に進んでいる。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
小規模医療施設等のバリアフリー化をさらに推進するため、事業の周知方法の工夫や、期間を定めて集中的に助成内容を充実することも検討する。					改善		